

## オゾン発生器XT - 400

オゾン発生器XT - 400(以下ユニット)は、特許を取得したコロナ放電式オゾン発生器によりXÉŦĪŦŦオゾンと名付けたオゾンを生成します。このユニットは通常の空気清浄と無人環境下で悪臭や雑菌に汚染された場所(～44㎡、約27畳)に対し「高濃度オゾンショック処理」による脱臭と殺菌を行います。(使用可能な容積はその場の環境に影響されます。)

**\*注意!**「高濃度オゾンショック処理」は、必ず、人間、動物、植物の無い状況を確認の上で実行してください。

### 操作方法



中央のLEDパネルの数字はオゾンレベルを表しています。

1. 大きな中央のボタンの左側にある「On/Off」ボタンで電源を操作します。
2. 大きな中央のボタンの右側にある「Fn.」(機能選択)ボタンを押し、オゾンレベル、タイマー、ファン速度などの機能を選択します。このユニットの機能はLEDナンバーディスプレイの周りにある4つの小型ライトで表示されます。操作されている機能に合ったライトが点燈します。
3. オゾンレベルを選択するために、「O3」と「P.」のライトが点燈するまで「Fn.」ボタンを押してください。次に、1から10までのオゾンレベルを調節するために左側の「Up」や「Down」のボタンを押してください。これは、毎分2、5、10、15、20、25、30、40、50、60秒間オゾンを生成し、レベル10の毎分60秒間と言うのは、連続生成を意味します。

中央のLEDライトの数字はオゾンレベルを表しています。

オゾンレベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
作動秒数/分	2	5	10	15	20	25	30	40	50	60

これでこのユニットのオゾン生成量をコントロールします。

**この機能は、電力ボタン(P.)もしくはオゾンライト(O3)が点燈している場合のみ作動します。**  
他のすべての機能設定後、この設定を残す事ができます。

#### マニュアル内写真の説明

ライトの説明:「P.」= 電源、「O3」= オゾンレベル、「F.」= ファン速度および「T.」= カウントダウン・タイマーを表しています。

Pライト、および操作される機能ライトが点燈するまで「Fn.」ボタンを押します。

すべてのライトが点燈したら、操作される機能を表すライトが点燈するまで、もう1度「Fn.」ボタンを押し、ダイヤル周辺のライトを変動させます。

4. ファンの速度を選択するには、「F.」と「P.」が点燈するまで「Fn.」ボタンを押します。次に右側上部にある「Fan」ボタンを押し、低速(LL)、中速(M)、高速(HH)の中からファン速度を調節しますが、ファンを高速に維持する事を推奨します。

\*注: 中速の設定は、数字の「7」が向かい合った鏡文字のように見えます。

5. カウントダウン・タイマーを設定するために、「T.」と「P.」が点燈するまで「Fn.」ボタンを押します。

左側にある「UP」や「Down」ボタンを押して、10、20、30、40、50、60、最高90分間のカウントダウン・タイマーを選んでください。

本体タイマーは連続作動し停止する事のない「Cn」レベル、つまり「連続」に設定する事もできます。

タイマーの設定が終わったら、右側下部の「En.」を押してください。  
 タイマーの設定が完了すると、それを意味する合図音が3回鳴ります。  
 ユニットは設定された時間作動し、その後完全に停止します。パネルライトはユニットが「休止」しているにも関わらず、点燈したままです。  
 「En.」ボタンは、タイマーを設定する場合のみ使われる事を念頭に置いてください。  
 ユーザーが希望した時間にユニットが設定されるかどうかを確認するためにユニットを最初に使う際、タイマーを設定してみる事も良案です。  
 ユニットの電源を切った際、オゾン発生機は最後に設定された内容を記憶し、次の使用の際、先に設定されたオゾンレベル、ファン速度やタイマーに戻ります。  
 設置場所で停電があった場合、ユニットは動力停止以前に設定された状態で再始動します。ただし安全の為、ユニットが「連続」になっていた場合、停電後は何も設定されていない状態になります。停電が頻繁に起こる地域では、この事を念頭に置いてください。  
 合図音の設定：ユーザー自身で合図音を鳴らしたり消したりできます。  
 総ての4つのボタン「P.」、「O3」、「F.」、「T.」が点燈するまで「Fn.」ボタンを押します。次にメインLEDライトの合図音機能が「On」になるよう「UP」ボタンを押します。合図音を消す場合は、「Down」ボタンを押し、メインLEDライトに「Off」を表示させます。  
 コントロールパネル右側の大きな赤い楕円球は赤外線受光器です。

## リモコンの操作

このXT - 800(以下ユニット)はリモコンが付属しています。リモコンを操作する前に、ユニットの操作方法を十分に把握しておく必要があります。その為には、メインコントロールパネルの設定を把握しておくのが大切です。



リモコンのボタンはユニット本体で操作するのと全く同じ方法でオゾン発生器を操作できます。

「Power」電力ボタン(中央下部、赤色)

「Ozone / Timer」オゾンレベル/タイマーのアップボタン(左上部、白色)およびダウンボタン(右上部、白色)

「Beep On / Off」合図音のオン(左下部、白色)およびオフボタン(右下部、白色)

「Funct.」機能ボタン(中央上部)

「Fan / En.」ファン速度ボタン(右上部、白色)

すべてのリモコン・ボタンはコントロールパネル・ボタンと同様に作動します。

ヒント：高い場所にユニットを設定すると、天井に遠隔信号をバウンドさせてユニットを作動させる事ができます。

## 設置場所

オゾンは空気よりも重いのでオゾン発生器XT - 400(以下ユニット)は、オゾンが隅々まで行き届くよう、転倒などの安全性を考慮し可能な限り高い場所に設置してください。その際、扇風機などはオゾン拡散に大変役立ちます。このユニットは精密機器です、ホコリやゴミのある場所から遠ざけてください。特にホコリがユニットに侵入しやすい床の上などには設置しないでください。

室内で人間の居る場所の対角線側にユニットを設置すると、オゾンが最も良く循環できます。また、その設置場所は、人間の周りに過度のオゾンを発生させる事を防いでくれます。

通風システム等の室内へ空気を送る循環エアダクトの中でユニットを作動させることは、均一にオゾンを循環できる大変望ましい方法です。

## オゾンレベル

低レベルのオゾンは雷雨後のような穏やかで爽やかな香りがしますが、空気清浄の効果を出すために、オゾンの香りが必要という訳ではありません。

オゾンは、鼻で知覚できる濃度より少ない方が、ほどよく作用します。

人間の嗅覚はオゾンの臭いに対してすぐ慣れてしまいますので、オゾンレベルを段々高く上げたくな

る気持ちを抑えて、処理に必要な量のオゾンだけを生成するようにしてください。

室内の空気清浄が目的の場合は、レベル1でオゾンを発生させます。もっとオゾンが必要だと感じた場合は、オゾンレベルを2、3もしくは必要とされるレベルまで上げてください。

適切なオゾンレベルとは、刺激臭を残さずに、室内の脱臭や空気清浄が出来るレベルの事です。その室内にある臭いに応じて、オゾンレベルの設定をしてください。

もし、空気が充分清浄されていないと感じたら、室内の臭いを感じられなくなるまでオゾンレベルを上げてください。ただし、しばらくすると室内中のオゾン濃度は必ず高くなりますのでレベルを下げる必要があります。

例えば、このユニットでタバコの臭いを取り除くために利用する場合、オゾンレベルを室内に居る喫煙者の数に合わせてください。10人の喫煙者に対して高レベルに設定されている場合は、9人が室外へ出た際、それに準じてレベルを下げる必要があります。

繰り返しますが、このユニットの過度の使用は避けてください。室内に高濃度のオゾンが充満した場合、オゾンは穏やかで爽やかな香りから不快な漂白剤の刺激臭に変わります。これは絶対に避けてください。オゾン環境下では、鼻はかなり早い段階でオゾンを嗅ぎ分けられなくなります。高濃度のオゾンは、頭痛や目の痛み、喉の痛みを引き起こします。(つまり、鼻がオゾンのレベルを知覚する前に、身体に症状が出ます。)このような場合には、電源を切って換気を十分にし、最低のオゾンレベルまで下げてください。

オゾンによる空気清浄の最も効果的な方法は、できる限り低濃度のオゾンを利用することです。

このユニットにより空気清浄をする場合、使用している部屋のオゾン濃度に大変な注意を払うことが大切です。オゾン濃度は常に測定してしてください。

## **お手入れ**

オゾン発生器XT - 400 (以下ユニット)は、メンテナンスをほとんど必要としない特許を取得したコロナ放電式オゾン発生器によりオゾンを生成します。

お手入れの前に必ずプラグを外してください。ユニットの外側は濡れたペーパータオルなどで拭いても構いませんが、洗剤は使用しないでください。ユニットの通風孔に蓄積したホコリを吸い取るために、家庭用の電気掃除機を使用することもできます。

お手入れの際、決してユニットの中に異物を突っ込まないでください。

高圧電流が流れているため、感電する危険があります。

このユニットには、特別なフィルムチップ部品用クリーナーが附属しています。それで部品に付着しているホコリを掻き出す事ができます。又、このユニットに蓄積したホコリを焼却するため、30分間最高レベルに設定することも出来ます。

機器の背面にある吸気口には、特許を取得した3M社製静電気式特殊エアフィルター(以下フィルター)が設置されており、ホコリが機器に侵入するのを防いでいます。定期的にフィルター表面に付着したホコリを電気掃除機で吸い取ってください。通常、2~3ヵ月でフィルターが灰色になりますので新しいフィルターと交換してください。古いフィルターは再利用できません。尚、フィルターの使用可能期間は機器が発生したオゾン量によって変化します。

どの機器にも2枚の交換用フィルターが附属しています。指定されたフィルターのみをお使いください。フィルターがなくなりましたら、発売元よりフィルターをお買い求めください。

内部のコロナ放電式オゾン発生器(以下発生器)は、壊れにくく耐久性があり何年も使用可能ですが、経年劣化は避けられません。又、各部品は誤用等により破損します。ユニットに破損した部品があると疑われる場合は、オゾンレベルを最高値に設定して室内の電気を消してください。部品の一つでも紫色に光らないか、もしくは光り方がぼやけていれば、その部品は交換が必要です。

このユニットには3個の部品があります。部品は合体して3つ1組みで発生器1個になっています。3個の部品とも消耗していると思われる場合、そのユニットは発生器自体が悪いと思われます。

破損した部品もしくは発生器がある場合は、交換のため、弊社に連絡ください。

## **保証内容**

1. すべてのオゾン発生器XT - 400 (以下ユニット)は、出荷の前に、厳格な品質管理がされており、製造の欠陥に対して2年間保証されています。
2. 欠陥が製造過程によるものと判断された場合、<sup>レイチン</sup>Xetin社の負担にて修理・交換をいたします。
3. この契約はユーザーの誤用による故障は保証しません。

4. 3M社製静電気式特殊エアフィルターは消耗品ですので保証には含まれません。
5. コロナ放電式オゾン発生器は6ヶ月の保証期間が付いています。
6. 修理・交換のための送料については、ユーザー負担となります。  
ユニットはしっかりと梱包して保険をつけてください。購入時、ユニットが入っていた内箱は、輸送に耐えるほど丈夫ではありませんので再利用は避けてください。  
尚、修理は、弊社にて修理受付事務が完了した場合にのみ行なわれます。

<sup>レイチン</sup> Xetin社及び発売元は、ユーザーの使用もしくは誤用に起因する損害は一切保証しません。

### ユニットの詳細

定格電圧: AC100V  
周波数: 50 / 60Hz  
定格電流: 0.17A  
消費電力: 17W  
電圧出力: 平均4,000V  
プロテクションヒューズ: 2A  
オゾン濃度: 35ppm / 14.8CFM  
オゾン気流速度: 14.8CFM  
オゾン排出量(毎時): 13mg/時 ~ 445mg/時  
ファン気流速度: 35CFM  
騒音レベル: 45dB ~ 49dB  
サイズ: 292mm(奥行き) X 108mm(幅) X 118mm(高さ)  
重量: 1.68kg

使用の目安: 空気清浄 ~ 44m<sup>2</sup>約27畳間(~110m<sup>3</sup>)  
高濃度オゾンショック処理 ~ 24m<sup>2</sup>約14畳間(~60m<sup>3</sup>)  
**\* 使用場所の温度や湿度により変化します。**

### XT - 400用品クリーニングの手順



最初に電源を切ってください。  
次に2枚の電極板の間にクリーンチップを差し込んでください。  
そしてオゾン用部品を清浄するため、チップを上下に動かしてください。  
オゾン・コントロールボタンの設定で、最低60分間最高レベルで作動させてください。  
これで部品クリーニング作業は完了です。

### **高濃度オゾンショック処理とは**

出力の高いオゾン発生器XT-400(以下ユニット)の最たる特徴の一つが、無人の室内で高濃度オゾンショック処理ができることです。動物の尿などの強い悪臭もしくはバクテリアやカビ菌の問題を取り除くためには、高レベルのオゾンで処理する必要があります。これが高濃度オゾンショック処理(以下ショック処理)です。

このような問題がある場合、低レベルのオゾンで空気清浄をする前に、部屋を無人にしてショック処理をするのが良いでしょう。

このような問題が一度解決されると、それ以降は、低レベルのオゾンで空気清浄をする事ができます。これが無人の室内で、臭い問題を解決するための高レベルなオゾンによる空気清浄処理です。

### **\* 注意事項 \***

**高濃度オゾンショック処理中は人間、動物、植物の居ない状態にし、90分以上の処理を行う場合は、必ず外付けタイマー(別売り)を使ってください。**

**\*\*\* 注意事項は、必ず守ってください。\*\*\***

### **操作方法**

このユニットのオゾンレベルを最高値の10、ファンの速度は高速に設定し、本体タイマーを最長の90分に設定してください。ほとんどの臭いは、90分の処理で解決できます。90分よりも長時間のショック処理が必要とされる場合は、ユニットのタイマーを連続に設定し、市販のタイマーを使ってください。ショック処理をやりすぎると、オゾンの臭いが残ってしまいます。大変強い「漂白剤のような臭い」です。

ショック処理後、オゾン発生器が停止して最低2時間が経過してから室内へ戻ってください。それでも室内に不快な「漂白剤のような臭い」が残っている場合、窓を開けて換気をしてください。部屋の換気を行うと臭いはすぐに消え、処置前よりも澄んだ香りになります。

カビや頑固な臭いには、定期的なショック処理が必要です。

最も留意することは、カビ菌を殺したり頑固な臭いを取り除いたりするためには、できる限り高濃度のオゾンが必要だということです。

ユニットの手応えを感じたり、どのような効果があるのか実感するために、短時間のショック処理を行うことはユニット使用の最も良い始め方です。

決して過度のオゾンは利用しないでください。過度のオゾンはゴム部品を痛めて壊したりします。作業に必要とされる適度な量に抑えてください。

このユニットは、最高毎時445mgのオゾンを排出しますが、さらに強力な臭いにはもっと大きな発生器が必要になります。

家屋全体のカビ処理は、このユニットで生成できるオゾン量よりも、もっとオゾンを必要とします。

### **\* 注意事項 \***

**高濃度オゾンショック処理中の室内は無人状態にし、いかなる生物も室外へ出してください。**

外付けのタイマー(別売り)は、人間が当該空間へ戻る2時間前には必ず切れるように設定してください。

**\*\*\* 注意事項は、必ず守ってください。\*\*\***